

学年 月	出来事・行動	コメント
学部 2 年 10 月	・ 大学間留学説明会出席	SAP に参加した時の仲間に留学するという人が多かった。「このまま何もやらないのはもったいない」と焦りを感じ、急ぎよ留学を意識しだした。
学部 2 年 11 月	・ 留学決意 (GE3)	留学を決意したのが遅かったため、学内締め切りが大学間より 2 ヶ月ほど遅い、部局間か GE3 に留学することを決めた。
学部 2 年 12 月	・ 大学を固めた ・ ドレクセル大学の授業を調査 ・ アドバイザー教員と面談 ・ 学内申請 (部局間) ・ 奨学金の調査	機械系の「実験」と「製図」にあたる授業があるかどうかをドレクセル大学 HP で調査。 【ドレクセル大学に決めたポイント】 英語スコアと大学の規模で絞った。大規模な大学を選んだ理由は、学部生なので、専門性よりはたくさんの人と出会える機会を作らなかったから。
学部 2 年 1 月	学内二次選考 (部局間・面接)	面接選考では英語での受け答えがあると聞いていたが、子供の時から英会話を習っていて英語が得意だったため、特に面接の対策はしなかった。
学部 2 年 2 月	・ 学内選考結果通知 ・ 希望大学を変更 ・ 銀行口座の残高証明取得 ・ GE3 へオンライン申請	ドレクセル大学の英語要件に急遽変更があった。TOEFL Paper-based test ではスコア要件を満たしていたが、ITP で申請したい場合は Paper-based test よりも高いスコアが必要とされ、断念した。 【IIT に決めたポイント】 自分の ITP スコアで申請できる大学の中から、学生数が多く、単位互換に必要な授業がとれる大学を調べ直した結果、イリノイ工科大学が最適だと判断した。
学部 2 年 3 月	・ 結果待ち (GE3 審査ののち IIT での審査)	特に動くことがなかったため、実家に帰ってのんびり過ごした。
学部 3 年 4 月	・ GE3 からの結果通知 (留学決定) ・ 英語クラス受講 (国際交流室)	留学に向け、TED でリスニング強化に努めた。勉強のため嫌々というわけではなく面白そうだから見ていたが、結果的には「楽しく」勉強したのが効果につながった気がする。
学部 3 年 5 月	・ VISA 取得の調査 ・ IIT 提出物準備 ・ 1 回目の留学科目履修相談会 (機械系)	IIT 留学中に「実験」と「製図」にあたる科目がとれることを相談会で確認してもらうためには IIT のシラバスが必要だった。IIT の HP で公開されているシラバスは非常に簡素なものだったので心配した (詳細なシラバスがあったほうがよい)。互換性の確認には、IIT の科目の授業合計時間も確認しなければならなかったが、シラバスに記載がなかったため、IIT のアドバイザー教員にメールで問い合わせた。
学部 3 年 6 月	・ IIT の寮に申請 ・ 事前確認シート提出 (機械系) ・ 2 回目の留学科目履修相談会 (機械系) ・ 留学願を提出 (教務)	IIT からわずかな奨学金が出たので便利だった。寮の申請費に使った。 「実験」と「製図」にピッタリ合う科目は 4 年生の授業で IIT から受講を許可してもらえなかった。一つランクを落とし 3 年生の授業

		をとるよう指導された。2 回目の相談会では、留学中の単位履修計画の最終確認をしてもらい、無事、教務委員の先生にハンコをもらえた。
学部 3 年 7 月	<ul style="list-style-type: none"> ・寮決定 ・IIT ミールカード申請 ・VISA 面接（東京） ・航空券購入 ・海外旅行保険加入 ・機械系「学外見学」免除申請 	J1-VISA の取得には、東京にあるアメリカ大使館での面接が必要。平日しか開いていないため、学校を休んで東京に面接に行った。IIT から、オリエンテーションの 1 週間前には入寮するよう指示があった。日程を合わせ、トラベルコープで往復約 30 万円で航空券を購入。
学部 3 年 8 月	<ul style="list-style-type: none"> ・研修Ⅱの発表会 ・荷造り ・出発 	<p>機械知能・航空工学科では、5 セメ後の夏休みに「研修Ⅱ」の発表会があるが、6 セメで留学する学生は前倒して発表会が行われた。そのため、他の学生よりも早いペースで準備を進めなければならなかった。</p> <p>【現地到着後】</p> <p>携帯はソフトバンクの「アメリカ放題」で特に不足なかったが、回線は遅く感じた。寮の備品の事前確認を怠ってしまい、到着後すぐに近所のモールでブランケットとシーツを購入（寮にはベッドしかなかった）。</p>